

新刊案内

2021年5月～2022年4月

刊行書籍



Shinmensha

株式会社 新典社

学会員限定 新刊特別割引販売ご注文について

特別割引販売期間	2022年7月末日まで
割引価格	全品表示価格より2割引
送料	発送は日本国内のみ、送料は全国一律で715円(税込)
お支払い方法	書籍発送時に郵便局の払込取扱票を同封いたします。 また、書類に銀行の振込先も記載いたしますので、 ご都合のよろしい方法でお支払い下さい。 振り込み手数料は、ご負担下さい。

ご注文方法

お問い合わせ

ホームページ：お問い合わせ→学会会員様注文用

メール：info@shintensha.co.jp

FAX：03-5246-4245

郵送：111-0041

東京都台東区元浅草 2-10-11 吉延ビル 4F

メール：info@shintensha.co.jp

FAX：03-5246-4245

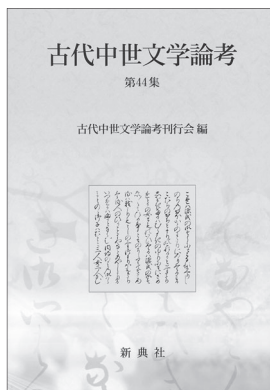
郵送：111-0041

東京都台東区元浅草 2-10-11 吉延ビル 4F

ご注文時の注意点 ※必ずご確認ください

- ・書名・部数・所属学会名、公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- ・公費注文の場合、書類の宛名、書類の必要枚数、日付の有無、代表者印の有無、送料の記載方法（書籍代に含めた方がよいか）をお知らせ下さい。
- ・送付先（郵便番号・住所・電話・氏名）をお知らせ下さい。
- ・既刊書籍のご注文も特別割引にて承ります。新典社ホームページで書籍情報の確認、図書目録の閲覧・ダウンロードが可能ですので、ご確認の上、お問い合わせ下さい。

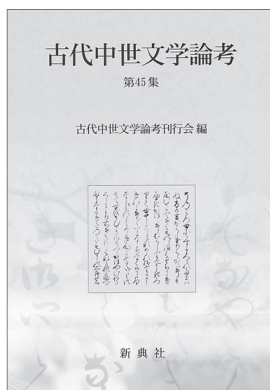
新典社 WEB サイト <https://shintensha.co.jp/>



古代中世文学論考 第44集 古代中世文学論考刊行会 編

『古事記』に表れた畏怖と倫理観 古屋明子／オモヒカネの系譜に関する考察 青柳まや／『日本霊異記』における「気」とその表象 大塚千紗子／上代詔勅における「理念の陳述」と律令政治の思想基盤の構築 楽曲／F・V・ディキンズによる二つの英訳『竹取物語』の底本 丸山由生奈／『源氏物語』手習巻の「袖ふれし人」歌考 山崎和子／『紫式部日記』寛弘七年の記事と催馬楽「此殿」 佐藤有貴／『十代集拔書』（『十代集』）の撰集資料の調査報告 三村晃功／謡曲「定家」の後続作 天野聡一

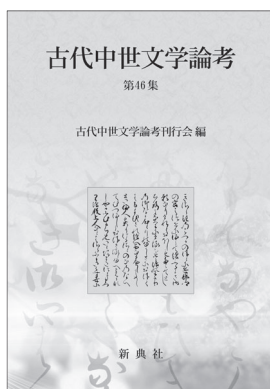
ISBN978-4-7879-3544-1 A5判上製 280頁 6710円



古代中世文学論考 第45集 古代中世文学論考刊行会 編

人麻呂歌集「庚辰年七夕歌」訓釈考 土佐秀里／『万葉集』巻八・一六六一番歌考 桐生貴明／『落窪物語』の「笑い」 弘井理子／小町「花の色は…」注釈史考 室田知香／月食の夜と「望月」 坏美奈子／『道成集』解題と校本 曾根誠一

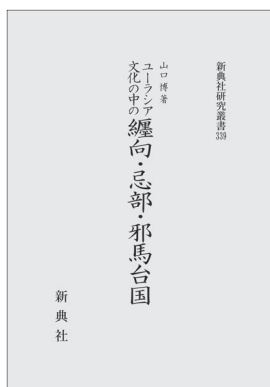
ISBN978-4-7879-3545-8 A5判上製 280頁 6710円



古代中世文学論考 第46集 古代中世文学論考刊行会 編

『枕草子』の紅梅をめぐる考察 赤間恵都子／藤壺詠「袖ぬるる」歌をめぐる一考察 戸田瞳／末摘花の祝儀の品 高倉明樹子／六条御息所の鎮魂再考 牧野裕子／『源氏物語』の氷魚はアユの稚魚か 加藤伸江／近代の源氏絵の系譜 河添房江／『我が身にたどる姫君』の密通 大塚千聖／日蓮と空海伝承 丹治正弘／『中臣祓訓解』の典拠研究 小田島良／翻刻『補缺類題和歌集』（前篇） 三村晃功

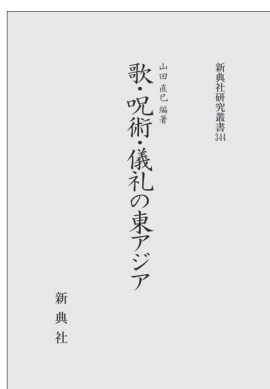
ISBN978-4-7879-3546-5 A5判上製 380頁 8470円



ユーラシア文化の中の 纏向・忌部・邪馬台国

山口博 著

第一編 大殿造営、幣物製作と忌部 忌部の大殿・神殿造営と祭具製作／忌部登場の歴史時代／忌部の物作り神話／第二編 フェジーな状況証拠からの忌部祭祀年代 古体の大殿祭祀詞／祭祀の襷スタイル／天語りを語る忌部／第三編 阿波の忌部 二つの忌部地域／大麻山古墳群／阿波郡の神殿／弥生矢野工業団地／阿波プレ忌部エリアは倭国／第四編 大和の忌部 倭国阿波、大和へ／忌部祭祀エリアにおける祭祀活動／忌部祭祀エリアの中の幻覚性大麻／纏向祭祀機構／（忌部レクイエム・忌部関係年表・東遷概念図・索引・他）
新典社研究叢書339 ISBN978-4-7879-4339-2 A5判上製 472頁 15180円



歌・呪術・儀礼の東アジア

山田直巳 編著

序章 アジア基層文化と古代日本／第一章 祭祀・儀礼・伝承論／第二章 表記・歌掛け論／第三章 比較表象論

*「アジア少数民族文化と日本」の共同研究をもとに、異なるフィールドの研究者17名が、日本基層文化の源流と現在を多角的に解き明かす。（執筆者：工藤隆・張正軍・廣田律子・山田直巳・富田美智江・北條勝貴・菅原壽清・手塚恵子・曹咏梅・飯島奨・草山洋平・梶丸岳・岡部隆志・遠藤耕太郎・真下厚・今井秀和・北村皆雄）

新典社研究叢書344 ISBN978-4-7879-4344-6 A5判上製 544頁 17600円



東歌を読む 「歌路」の理論から読み解く東国の歌謡

辰巳正明 著

解題／凡例／東歌を読む I 勸国歌（東歌・相聞・譬喩歌）II 未勸国歌（雑歌・相聞・防人歌・譬喩歌・挽歌）

＊万葉集巻十四収録の東歌。歌垣の挑発的でエロチシズムに満ちた愛の表現から、東歌生成の道筋（歌路）を辿り、歌の原点にも迫る。恋歌の熟する頃に万葉仮名で書きとめられた、一字一音の世界。

ISBN978-4-7879-0650-2 A5判並製 336頁 3410円

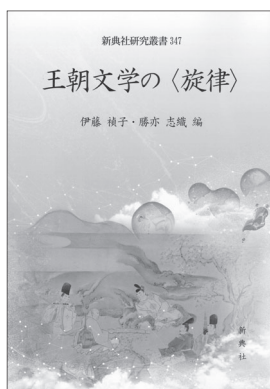


大和の古代文化

奈良県立万葉文化館 編

リレー講座—大和の古代文化— 万葉人の自然認識と表現 寺川眞知夫／大伴旅人、讃酒歌遡源 上野誠／孝謙女帝の帝権感覚 松尾光／持統天皇と役行者 菅谷文則／発掘からみえる悲劇の宰相 長屋王 田辺征夫／越中万葉の文化的意義 坂本信幸／飛鳥の秋 長安の秋 千田稔／古代の紙 湯山賢一／万葉文化館サミット—万葉古代学が目指すもの— 寺川眞知夫・上野誠・松尾光・井上さやか

ISBN978-4-7879-7867-7 B6判並製 232頁 1870円



王朝文学の〈旋律〉

伊藤禎子・勝亦志織 編

＊20年来続く研究会から生まれた多様な学智が奏でる集大成。作品に向き合い、新たな可能性を探り、分析を試みる。源氏・枕草子・更級・大和・うつほ・落窪ほか王朝物語や貴族日記を論じる16本。
(執筆者：神田龍身・近藤さやか・三原まきは・富澤萌未・手塚智恵子・勝亦志織・伊勢光・新田紗穂子・伊藤優紀奈・増田高士・千野裕子・中丸貴史・福里将平・伊藤禎子・武藤那賀子・毛利香奈子)

新典社研究叢書347 ISBN978-4-7879-4347-7 A5判上製 360頁 11660円

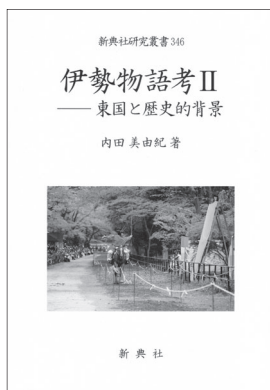


日本古典文学の研究

日本古典文学研究会 編

〔講演〕光源氏の生き方から見る『源氏物語』 廣田収／『源氏物語』 椎本卷における八の宮と薫の贈答歌の解釈 櫛井亜依／『源氏物語』における光源氏と女君の贈答歌 風岡むつみ／『小右記』の虚構 滝沢優子／『今昔物語集』にみる靈魂の行方 久留島元／『宇治拾遺物語』三二話「右大臣」考 嶋中佳輝／『宇治拾遺物語』における食欲 趙智英／宇治拾遺物語・古事談・古今著聞集における連鎖の技法 生井真理子／『延慶本平家物語』名のり考 城阪早紀／『沙石集』伝本の行方 加美甲多／逸翁本『大江山絵詞』の独自性 八木智生／A. Cabezas 訳スペイン語版『伊勢物語』“Cantares de Ise”における和歌訳の形式と掛詞について 雨野弥生

新典社研究叢書345 ISBN978-4-7879-4345-3 A5判上製 320頁 10340円



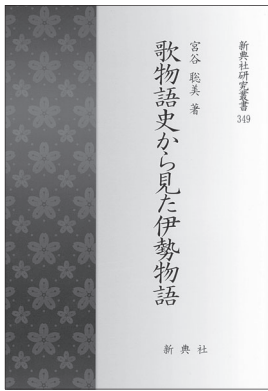
伊勢物語考 II — 東国と歴史的背景

内田美由紀 著

第一章 『伊勢物語』の陸奥とその時代／第二章 『伊勢物語』の関東とその時代／第三章 『伊勢物語』の海外とその時代／第四章 業平とその時代／第五章 業平以後の時代

＊業平が生きた時代の東国すなわち陸奥や関東のほか、海外の状況や業平周辺人物たちも含めた歴史的背景を考察し、当時の視点・価値観とともに伊勢物語への理解を深める。関根賞受賞作待望の続編。

新典社研究叢書346 ISBN978-4-7879-4346-0 A5判上製 372頁 12320円

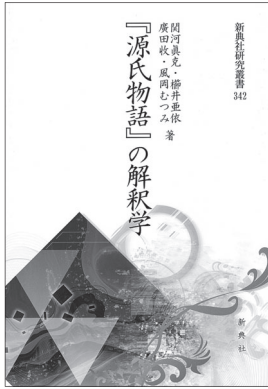


歌物語史から見た伊勢物語

宮谷聡美 著

第一部 『伊勢物語』の主題と形成 「よむ」歌と「いふ」歌／『伊勢物語』と和歌・漢文学／『伊勢物語』と歌謡／第二部 歌物語の文学史 『伊勢物語』長編化の方法／『うつほ物語』の和歌と歌物語／平安後期物語と中世王朝物語における和歌の位置

*伊勢物語はどのようにして生まれ、何を表現しようとしたのか。伊勢物語の表現から主題と形成の様相を読み解くと共に、和歌と散文の関係に着目し、歌物語を軸とした新たな文学史の構想を試みる。
新典社研究叢書349 ISBN978-4-7879-4349-1 A5判上製 368頁 11880円

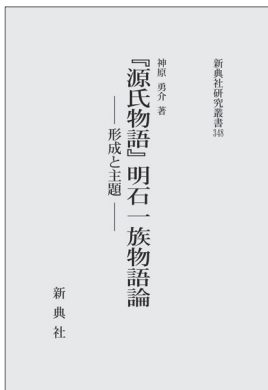


『源氏物語』の解釈学

関河眞克・櫛井亜依・廣田收・風岡むつみ 著

『源氏物語』朝顔考 廣田收／『源氏物語』桐壺更衣の歌「かざりとて」小考 風岡むつみ／『源氏物語』存在の根拠を問う和歌と人物の系譜 廣田收／『源氏物語』の舞楽 関河眞克／『源氏物語』「わが御私の殿と思す二条院」考 櫛井亜依／『源氏物語』幻巻「独り住み」考 櫛井亜依／『源氏物語』巻末歌考 風岡むつみ

*物語を読むことから、解釈の精度をいかに高めて、「学」とするか。
新典社研究叢書342 ISBN978-4-7879-4342-2 A5判上製 256頁 8250円



『源氏物語』明石一族物語論 —— 形成と主題 ——

神原勇介 著

第一篇 明石巻の恋愛譚の形成 〈あて〉なる明石の入道／明石の入道の代作の手紙／「あたら夜」攷／第二篇 越境の物語の形成 明石の入道の遣水転落／明石の尼君の呼称変化／明石の姫君の裳着と紫の上の地位／第三篇 〈女系繁栄〉の主題 明石の入道の人物像／明石の君の内なる竜女たち／女系繁栄譚としての明石一族物語／附篇 『源氏物語』の時代背景に関する考証 「門分かれたる」藤原氏公卿／「放出（はなちいで）」の再検討

新典社研究叢書348 ISBN978-4-7879-4348-4 A5判上製 320頁 10230円



平安貴族を襲う悪霊の風 —— 『栄花物語』異聞 ——

福寛美 著

招魂／平安時代の霊的事象／藤原道長の病と霊的事象／霊的事象 藤原教通北の方の場合／悪霊／風・風病／頼通の風／自然現象の風／民俗世界の悪霊の風概説／『総合日本民俗語彙』の悪しき風の用例／悪霊の風／無常の風／返りの風／風の行方

*栄花物語に登場し、貴賤を問わず人々をおびやかす存在「風」。霊的現象や流行病の記述を、民俗学の知見をもって解き明かす試み。

ISBN978-4-7879-7868-4 B6判並製 144頁 1320円

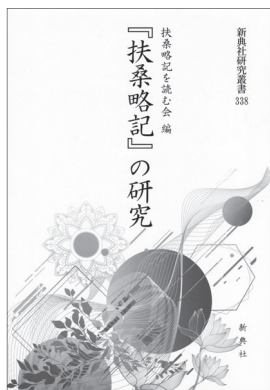


堤中納言物語論 読者・諧謔・模倣

陣野英則 著

I 多様な読者と短篇物語 「ほどほどの」読者たち／物語の聴き手たち／生成と享受の密着した「場」の文学／II 諧謔、そしてあらたな表現の試み 同語反復とはぐらかし／観音信仰を虚仮にする／表と裏の物語／III 女房たちの参考書として 危機対応の実践例／多様な女房たちの標本／異質さとのかわり方／物語から遠くはなれて／参考書としての『堤中納言物語』

新典社研究叢書352 ISBN978-4-7879-4352-1 A5判上製 320頁 10450円

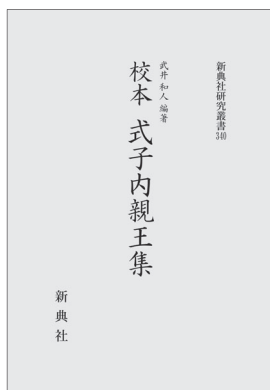


『扶桑略記』の研究

扶桑略記を読む会 編

『扶桑略記』の研究史と今後の可能性 三好俊徳／『扶桑略記』の成立圏と編者について 田中徳定／『扶桑略記』と仏教 三好俊徳／『扶桑略記』の史的意義 佐藤愛弓／『扶桑略記』における怪異 久留島元／『扶桑略記』における『日本霊異記』説話の利用 嶋中佳輝／『扶桑略記』所収「奥州合戦記」と『陸奥話記』 城阪早紀／『扶桑略記』における説話採録の方法 加美甲多／『扶桑略記』の記事と歴史の編纂と 廣田收

新典社研究叢書338 ISBN978-4-7879-4338-5 A5判上製 296頁 9460円



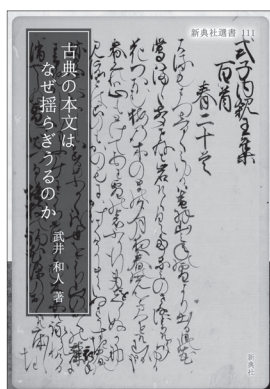
校本 式子内親王集

武井和人 編著

凡例／校本篇／底本・対校諸本一覧／架蔵本・影印／解説篇／研究史及び伝本分類規準／伝本書誌解題／諸本系譜論への道

*宮内庁書陵部本を主な底本に、式子内親王集44本の校異を1頁で一覧できる形式で掲載。必要に応じて当該部分の図版も掲げ、架蔵本の影印は全編を収録した。校本の利用しやすさに配慮した決定版。

新典社研究叢書340 ISBN978-4-7879-4340-8 A5判上製 728頁 23650円



古典の本文はなぜ揺らぎうのか

武井和人 著

第一部 論の始発—『式子内親王集』の事例から—／第二部 本歌とその流転／第三部 歌語史のなかで／第四部 なぜ同じ対立異文が文献を超えて発現するのか／第五部 改めて『式子内親王集』を考える

*古典にはなぜ様々な本文があるのか。式子内親王集を始発に万葉・新古今ほか古典全般の問題として揺らぎ発生の原因に向き合い、試行錯誤する過程をもふくめて「本文研究」のための道筋を提示する。

新典社選書111 ISBN978-4-7879-6861-6 B6判並製 256頁 1980円



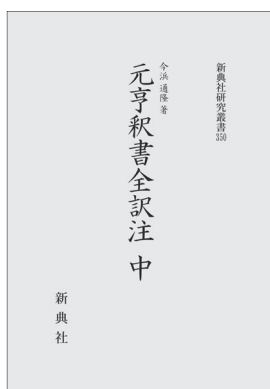
鎌倉武士の和歌 — 雅のシルエットと鮮烈な魂 —

菊池威雄 著

序章 宮廷文化としての和歌／第一章 源家の雅／第二章 歌わぬ将軍頼経／第三章 歌人將軍宗尊親王の時代と和歌／第四章 將軍惟康と時宗／第五章 鎌倉の歌道師範／第六章 歌人執権貞時と將軍久明親王／第七章 武家の和歌

*初の武士政権が統治力を発揮するには武力のみならず儀礼や文化が不可欠であり、それゆえ鎌倉武士たちは和歌をも嗜んだ。將軍・御家人らの和歌活動を追う。北条氏歌人系図、和歌関係略年表付。

新典社選書105 ISBN978-4-7879-6855-5 B6判並製 304頁 2420円



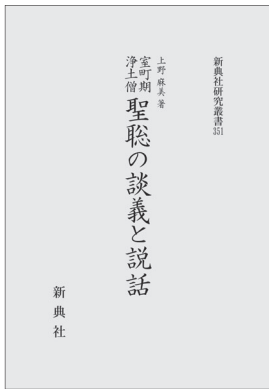
元亨釈書全訳注 中

今浜通隆 著

卷第十一 感進／卷第十二 感進・忍行／卷第十三 明戒／卷第十四 檀興／卷第十五 方応／卷第十六 力遊・願雑／卷第十七 願雑／卷第十八 願雑／卷第十九 願雑・度総論／卷第二十 資治表

*鎌倉時代後期に日本で最初に作られた仏教通史・元亨釈書。五山文学の先駆的存在・虎関師鍊が精魂込めた大作を現代語訳し注を施す。中巻は卷第二十まで収録。国内外の僧侶たちから天皇や臣下も。

新典社研究叢書350 ISBN978-4-7879-4350-7 A5判上製 996頁 32450円



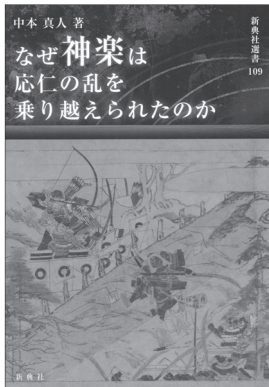
室町期 浄土僧 聖聡の談義と説話

上野麻美 著

第一編 『厭穢欣浄集』所収説話の研究／第二編 『大経直談要註記』所収説話の研究／第三編 『小経直談要註記』所収説話の研究／第四編 『当麻曼陀羅疏』所収説話の研究／第五編 『禅林小歌註』の研究／第六編 聖聡の談義注釈の行方

*芝増上寺の開祖・聖聡が遺した仏典注釈書には説話が多用されている。出典と利用方法の分析・検討から一般民衆に寄り添う談義僧としての側面に光を当て、中世浄土談議所を巡る状況を考察する。

新典社研究叢書351 ISBN978-4-7879-4351-4 A5判上製 288頁 9240円



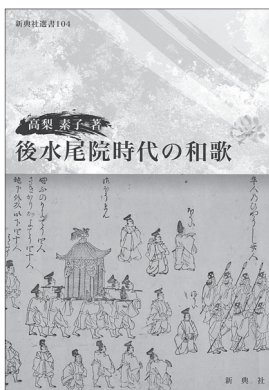
なぜ神楽は応仁の乱を乗り越えられたのか

中本真人 著

I 内侍所御神楽を守った三人の公卿／II 応仁の乱と内侍所遷座／III 中世の内侍所御神楽／IV 没落する公家、活躍する公家／V 内侍所臨時・恒例御神楽の再興／VI 乱世を乗り越えゆく内侍所御神楽

*応仁の乱によってすべての朝儀が停止する中、真っ先に再興されたのが内侍所御神楽であった。非常事態に文化を維持すべく公家たちはどんな行動にでたか。応仁の乱を「神楽」という視座から辿る。

新典社選書109 ISBN978-4-7879-6859-3 B6判並製 184頁 1485円



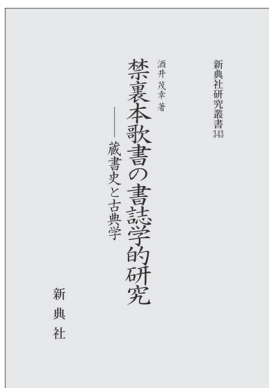
後水尾院時代の和歌

高梨素子 著

天皇の即位／慶長千首和歌／中院通村による添削／元和の御学問講／父帝への追悼／中院通村の『源氏物語』講義／古今伝受の権威化／烏丸光広と細川幽斎／烏丸光広の『耳底記』／院と一絲文守／年中行事的御会／宮中の月次御会／院による歌の添削／他全74節

*江戸時代初期。後水尾院は和歌を愛好し、伝統の復活や継承を試み、さらにはそれらの記録を残した。1回およそ3頁でテーマを設けて歌を紹介しつつ、院と周辺人物たちの和歌活動と在り方を追う。

新典社選書104 ISBN978-4-7879-6854-8 B6判並製 264頁 2090円



禁裏本歌書の書誌学的研究 —— 蔵書史と古典学

酒井茂幸 著

第I部 禁裏本歌書論 近世禁裏仙洞における定数歌・歌会の書写活動について…他全八章／第II部 二条派歌学論 『和歌三重大事』の諸本と成立…他全八章／第III部 資料・翻刻篇 中田光子氏蔵『古今和歌東家極秘』翻刻…他全六章／第IV部 追補篇…全四章

*中世・近世を中心とした書誌研究にひたすら向き合い続けるも、急逝した著者の業績を、本人が生前意図していた構成をもとに集成。

新典社研究叢書343 ISBN978-4-7879-4343-9 A5判上製 904頁 29700円



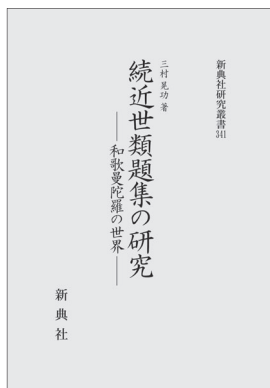
元禄名家句集略注 椎本才麿篇

佐藤勝明・永田英理・玉城司 著

はじめに／椎本才麿略歴／注釈／凡例／付録／椎本才麿年譜／初句索引／語彙索引／あとがき

*元禄俳諧の名家6人を現代語訳・語釈するシリーズの完結篇。和漢の詩歌にも通暁した椎本才麿句を元禄俳壇の背景をふまえて注釈し、絵文字も再現。略歴、才麿年譜、初句・語彙索引も収録した。

ISBN978-4-7879-0649-6 A5判並製 428頁 4290円

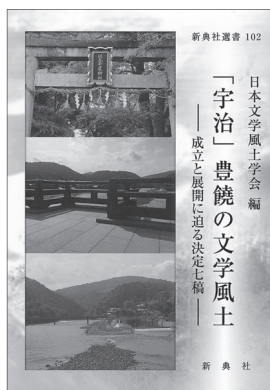


続近世類題集の研究 —— 和歌曼陀羅の世界 ——

三村晃功 著

第一章 総論 類題和歌集の精髓 和歌曼陀羅の世界／第二章 各論 近世類題集の諸相 『愚問和歌集』／『證歌集』／『補缺類題和歌集』／『春雨抄』／『温知和歌集』／『類葉倭詞集』／『三玉和歌集類題』の撰集資料／『故人證詞集』／『和歌類葉集』／『草木貝品目』／『類題和歌作例集』／第三章 付論 中世類題集の新出伝本の紹介 国文学研究資料館蔵『夫木和歌抄』（春部一）の属性

新典社研究叢書341 ISBN978-4-7879-4341-5 A5判上製 608頁 19580円

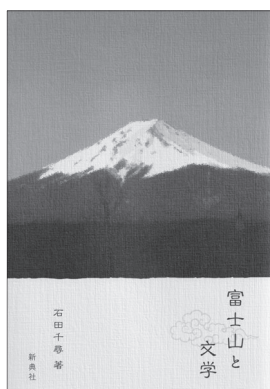


「宇治」豊饒の文学風土 —— 成立と展開に迫る決定七稿 —— 日本文学風土学会 編

宇治雑感「日本文学風土学会なかりせば」 馳浩／文学風土「宇治」の基層と展開 及川道之／「宇治の橋姫」 攷 佐々木雷太／厭世と栄華の宇治 藤本宗利／宇治と和歌 中田幸司／宇治と中世文学 石黒吉次郎／隠逸の文藝史への序章 原國人／近代歌人と宇治 小清水裕子／後記 根本欣哉

*万葉集から与謝野晶子まで、現地踏査を軸とした宇治の文学史。

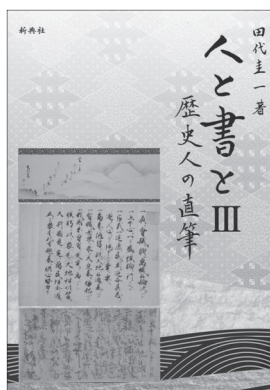
新典社選書102 ISBN978-4-7879-6852-4 B6判並製 230頁 1848円



富士山と文学 石田千尋 著

凡例／Ⅰ 序論 富士山の古典文学／Ⅱ 総論 富士山像の形成と展開／Ⅲ 各論 富士山の古代信仰／富士山と竹取説話／僧道興の和歌と修験／契沖の和歌／紅く燃えるふじ／Ⅳ 付篇 『新編国歌大観』における「富士山」用例／古典文学作品（上代～中世の散文・歌謡等）における「富士山」用例／報告書抄／ケカチ遺跡出土刻書土器の和歌／Ⅴ 解題 鉄野昌弘／あとがき 石田順朗

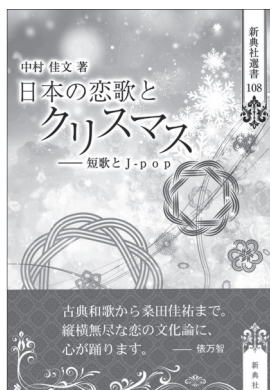
ISBN978-4-7879-7866-0 B6判並製 352頁 2805円



人と書とⅢ 歴史人の直筆 田代圭一 著

*前二著に続き、宮内庁関係機関が所蔵する天皇家、摂関ら公家、武将他の書を影印を掲げ解説。Ⅲでは鎌倉時代以降、江戸時代の人物を中心に上げる。近年の展示における最新の話題のほか、寺田屋事件直後に手に怪我を負った坂本龍馬の書といった臨場感溢れる背景や、書き手の人となりについても考察。どこからでも読める全50回に加え、書を一層楽しむためのコラムや人間関係系図も収録。

ISBN978-4-7879-7869-1 A5判並製 220頁 2200円



日本の恋歌とクリスマス —— 短歌とJ-pop

中村佳文 著

第一章 忘れられた待つこと／第二章 「身もこがれつつ」／第三章 「クリスマスだからじゃない」／第四章 日本の恋歌とクリスマス／第五章 短歌県みやぎきに詠う／最終章 「さよならは永遠の旅」

*古典和歌から桑田佳祐等のJ-popまで、待つこととクリスマスの掛け合わせにより導かれる恋歌の響きとは。宮崎県の魅力を発信する「国文祭・芸文祭みやぎき2020」から生まれた、恋の文化論。

新典社選書108 ISBN978-4-7879-6858-6 B6判並製 228頁 1870円



女性死刑囚の物語 — 明治の毒婦小説と高橋お伝 —

板垣俊一 著

高橋お伝の罪科と当時の物語／毒婦小説と江戸文化のなごり／物語の創作方法／お伝の新聞報道と裁判所の関係者糾問／お伝の供述／お伝の供述と物語／お伝の虚像と実像／お伝の最期

＊明治時代に典型的な毒婦として描かれた高橋お伝。お伝を題材とした小説は裁判における彼女の切実な供述を反転するかのようになり成り立ったことを、江戸時代からの戯作小説の流れを追って解き明かす。

新典社選書110 ISBN978-4-7879-6860-9 B6判並製 240頁 1980円



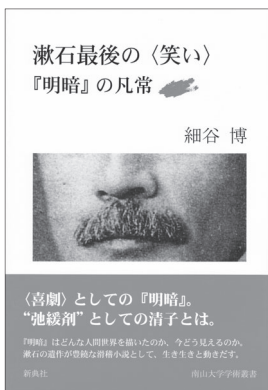
岡倉天心の旅路

岡倉登志 著

第一章 岡倉覚三(天心)と西洋文学・演劇・漢詩／第二章 欧米への旅立ち／第三章 中国・インドへの旅路／第四章 ボストン時代／第五章 岡倉覚三の人間模様

＊岡倉天心を曾祖父にもつ著者が、天心の欧州調査旅行・中国調査旅行に主な焦点をあてつつ文学・演劇・建築への関心について綴る。根岸倶楽部と早稲田文学にかかわる人々をはじめとした人間模様も。

ISBN978-4-7879-7871-4 B6判並製 308頁 3080円



漱石最後の〈笑い〉『明暗』の凡常

細谷博 著

人物関係図／第一章 一〇〇年の〈笑い〉／第二章 津田の〈ゆるみ〉／第三章 お延の〈自負〉／第四章 「愛の戦争」／第五章 『明暗』の〈凡常〉／あとがき—あらがう漱石、あらがう読み

＊漱石没により幕が下りた『明暗』。サラリーマン夫婦のありふれた日常がスリリングな人間喜劇と化し、〈凡常〉のおかしみが横溢する小説世界の動きを読み解き、〈未完〉の絶妙な味わいを再発見する。

ISBN978-4-7879-5518-0 四六判上製 256頁 1870円



三浦綾子文学の本質と諸相

竹林一志 著

三浦綾子の生涯と三浦文学の特徴／〈神を指し示す指〉としての三浦文学／三浦文学と聖書／三浦文学における聖句の受肉化／三浦文学と祈り／『天北原野』と「主の祈り」／三浦文学におけるクリスチャン／『氷点』における陽子の罪／『続 氷点』の陽子／夏目漱石『心』と『氷点』『続 氷点』『氷点』『続 氷点』年表

＊2022年に生誕百年をむかえる三浦綾子。キリスト教的主題を巧みに作品化し、読者を聖書に導くことを試みた三浦文学の方法とは。

ISBN978-4-7879-7870-7 A5判並製 320頁 3190円



東京裁判の思想課題 — アジアへのまなざし

野村幸一郎 著

序 保田與重郎の東京裁判批判／Ⅰ 徳富蘇峰の「国民」観念／Ⅱ 松井石根の大亜細亜主義／Ⅲ 大川周明の「三国意識」／Ⅳ 竹山道雄のファシズム論／Ⅴ 堀田善衛と南京事件／Ⅵ 阿川弘之が語る開戦への道程／あとがき—坂口安吾のまなざし

＊東京裁判史観を「思想課題」として読み解く。その言説は近代日本がアジアをどう認識していたのか知る、重要な手がかりでもある。

新典社選書107 ISBN978-4-7879-6857-9 B6判並製 272頁 2200円



《新明解》な 比喻づくし ほんざわかんいち 著

何はともあれ 明解に／トロロコンブか あおみどろ／サイズ違いの
サイドカー／人をたとえば 穴だらけ／漢語をかたく やわらかく／外
来語には 在来を／動詞同士は どうしてか／はばかりながら 合体も
／負けてはいない オノマトペ

＊新明解国語辞典・一九九三年刊行の第四版をテキストに、通常の辞典
とは比べようもないほど語釈に多用される、魅惑の比喻を紹介。

新典社新書83 ISBN978-4-7879-6183-9 新書判並製 160頁 1100円



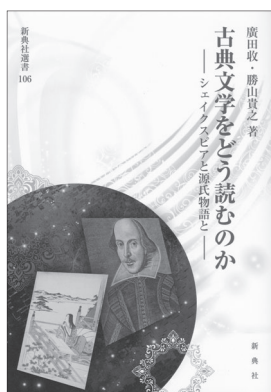
とびらをあける中国文学 —— 日本文化の展望台

高芝麻子・遠藤星希・山崎藍・田中智行・馬場昭佳 著

言葉の来た道 高芝麻子／日中の古典作品に見える有り得ない自然
現象とその意味するもの 遠藤星希／中日井戸異聞 山崎藍／『金瓶
梅』宋惠蓮故事を読む 田中智行／『水滸伝』から考える明清時代の
エンタメ小説：白話小説 馬場昭佳

＊故事成語や伝統文化、水滸伝、金瓶梅一日中の今と昔を行き来し
ながら、古典を鍵として、日常に隠れた知的冒険のとびらをあける。

新典社選書103 ISBN978-4-7879-6853-1 B6判並製 308頁 2530円



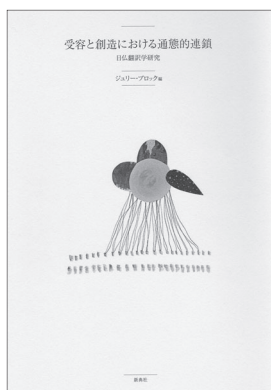
古典文学をどう読むのか —— シェイクスピアと源氏物語と ——

廣田收・勝山貴之 著

対談 古典文学をどう読むのか／シェイクスピアをどう読むか—
『ヴェニスの商人』私の読み方の場合— 勝山貴之／『源氏物語』私
の読み方の場合 廣田收

＊最近では敬遠されがちな古典文学の魅力について、英文学と国文
学の両方から語りかけ、光をあて直す。さらにはその読み方の実践
となるやさしい解説を、シェイクスピアと源氏物語を題材に収めた。

新典社選書106 ISBN978-4-7879-6856-2 B6判並製 256頁 2090円



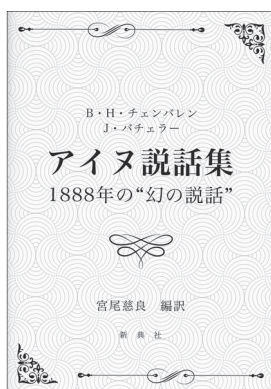
受容と創造における通態的連鎖 日仏翻訳学研究

ジュリー・ブロック 編

第一部 日本古典文学の解釈をめぐって／第二部 文学の生命感を
翻訳する／第三部 風土学と翻訳／研究ノート（執筆者：エリック・
アヴォカ／伊藤玄吾／岩下武彦／岩永大気／金子美都子／駒木敏／
鉄野昌弘／寺井龍哉／寺田澄江／鳥山定嗣／西澤一光／野田農／ジュ
リー・ブロック／オギュスタン・ベルク／横田悠矢）

＊オギュスタン・ベルクの現象学用語「通態性」を足がかりに、東
洋・西洋の古典近現代文学に対して翻訳学研究の展望を切り拓く。

ISBN978-4-7879-5516-6 A5判並製 460頁 5170円



B・H・チェンバレン J・バチェラー アイヌ説話集 1888年の“幻の説話”

宮尾慈良 編訳

第一部 アイヌの説話 B・H・チェンバレン／第二部 アイヌ民間
伝承の標本 J・バチェラー／付録 『アイヌ昔噺』

＊チェンバレン『アイヌの説話』採録の54話とバチェラー『アイヌ
民間伝承の標本』採録の12話、初の邦訳が一冊に。アイヌ古老の語
る説話の数々がいま蘇る。チェンバレン『アイヌ昔噺』の付録つき。

ISBN978-4-7879-5517-3 A5判並製 200頁 2090円



学ぶ前にふれる 実践中国語練習帳

野村幸一郎 監修・丁若思 著

入門編 とりあえずふれてみよう／基礎編 動詞のつかい方をマスターして表現の幅を広げよう／発展編 疑問詞や助動詞をマスターして実践的な会話力を身につけよう

*中国語に少し興味がある、まだ勉強したことはない方にお勧め。数ある中国語の学習書のなかでも、ずば抜けてやさしい内容の本書を本格的な学習を始める前に開いて、中国語の世界を覗いてみよう。

ISBN978-4-7879-0648-9 A4判並製 96頁 1320円

注文書籍情報記入欄

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

注文者情報記入欄

私費・公費

書類の宛名【公費】

請求書 枚 見積書 枚 納品書 枚

日付の有無

有・無

代表者印の有無

有・無

送料の記載方法

書籍代に含む・書籍代に含めない

所属学会名

送付先郵便番号

送付先住所

送付先電話番号

送付先受取人名

備考